

4月16～19日にかけて、世界の観光産業トップが集まる「世界旅行ツーリズム協議会」(=WTTC(World Travel and Tourism Council))の第12回グローバルサミットが東京及び仙台で開催。

## 1. 会合概要

○ 世界53ヶ国から仙台会合に約700名、東京会合に約1200名が参加。日本の復興とアジアの展望、世界の観光産業の潮流、航空業界の役割、将来の消費者、環境問題等について議論。

その中で、WTTCとしてビザ問題の手続き改善等のために世界の観光産業界のリーダーが今後協力していくことなどが、成果としてまとめられた。

○日本政府からは、17日夕の東京会合の開会式に野田総理が参加し、震災復興と日本経済の再生、観光分野は我が国のフロンティアであり、一層の促進が必要であることなどをご発言。

さらに、前田国土交通大臣、奥田国土交通副大臣、山根外務副大臣も会合に参加し、それぞれ観光分野の重要性や復興における取り組みなどを参加者に発信した。



野田総理大臣



前田国土交通大臣

## 2. 評価

### ○我が国の復興促進に向けた情報発信

本会合は、震災発生を受けて仙台での追加開催を決定。セッションでの議論及び被災地等の現地視察を通じて、世界の観光産業トップ及び海外マスコミに対し、被災地を中心とした我が国の復興状況や安全な現状を発信。未だ一部に残る我が国の安全に対する懸念等を払拭。

### ○観光産業の阻害要因の改善に向け参加者が一致

世界のGDPの9%を占める観光産業の重要性について認識すると共に、その一層の振興のためにビザ問題で観光産業リーダーが協力していくことで一致。観光促進に向けたビザ他の各種阻害要因の解決にむけ、今後の取り組みへのはずみとして期待。

### ○我が国の観光立国実現への決意の表明

野田総理、前田国土交通大臣をはじめとした我が国政府・産業界トップから、日本の魅力を発信すると共に、観光促進への我が国の取り組みについて紹介。我が国の観光立国実現に向けた決意を世界の観光産業関係者に表明するとともに、訪日旅客の拡大への協力を働きかけ。



奥田国土交通副大臣



山根外務副大臣



西田日本組織委員会委員長  
(日観振会長)



フレンツェルWTTC会長



スコーシルWTTC理事長

## <参考>

### 1. WTTCとは

世界旅行ツーリズム協議会(WTTC, World Travel & Tourism Council)とは、ホテル、航空会社、旅行会社など世界の主要観光関連企業約100社のトップで構成される民間の非営利団体(本部:ロンドン)。(注)日本のメンバーはJTBとJR東日本。

### 2. 会合テーマ

仙台会合: 4月16日夕~17日昼 テーマ「日本の復興とアジアの展望」

東京会合: 4月17日夕~19日昼 テーマ「波乱の時代のダイナミックな産業を率いて」

### 3. 主な参加者

ホテル業界 : ヒルトン、マリオット、インターコンチネンタル、スターウッド、MGM等  
旅行業界 : トウイ、アメリカンエクスプレス、カールソン、エクスペディア等  
運輸業界 : ユナイテッド、IAG(英国航空他ホールディング)、エアカナダ、エミレーツ等  
その他 : 国連世界観光機関、太平洋アジア観光協会、IBM、グーグル、  
各国政府/政府機関等

### 4. 準備体制

第12回グローバルサミット日本組織委員会を組織 (2011年3月)

委員長:西田(社)日本観光振興協会会長(東芝会長、経団連副会長)

副委員長:観光庁長官、大塚経団連副会長、佐藤東京都副知事

委員:外務省、経済産業省、観光関係団体・企業等 全29委員